



立川総合病院消化器センター
外科 主任 医師
日本ヘルニア学会 評議員
蛭川 浩史

鼠径ヘルニアについて
その3

今回は鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡手術についてです。

腹腔鏡下手術とは、お腹を炭酸ガスで膨らませ、5mm程度のカメラを入れて観察し、特別な鉗子を用いて行う手術です。お腹を大きく切らないので、手術後の痛みが少なく、回復が早く、傷もきれいという利点があります(図1)。その他にヘルニアでゆるんでいる部位を細かく観察して適切な手術ができ(図2)、大きなメッシュで十分に修復できることも強みです(図3)。一方で、腸を傷つけたり、腸

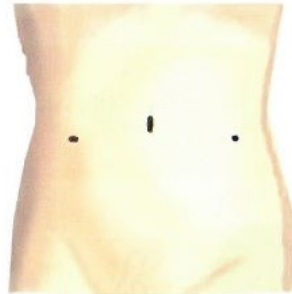
閉塞を起こしてしまうなど合併症をおこすことがあります。外科医のきちんとした技術や判断が重要になります。

鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術は、お腹の中(腹腔内)からアプローチする方法(TAPP法、図4)と、腹筋の下を剥がして腹腔内に入らずにアプローチする方法(TEP法、図5)があります。立川病院では主にTAPP法を行っております。



(図2)

(図1)



お腹の3カ所の小さな傷で手術を行います

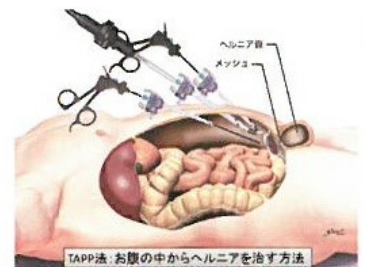


(図3)

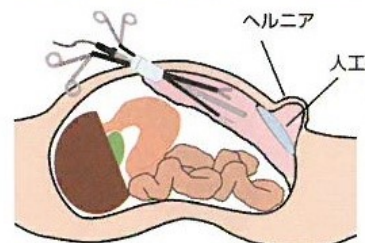
鼠径ヘルニア 腹腔に穴があります
お腹の中から見た鼠径部
鼠径ヘルニアは左右両側にヘルニアがある場合、再発の場合、女性の様に鼠径部の様々な部位が緩む事がたまり、ふくらむことがあります。2-3ヶ月で消えます。
腹腔鏡は左右両側にヘルニアがある場合、再発の場合、女性の様に鼠径部の様々な部位が緩む事

腹腔鏡手術は全身麻酔で行います。全身麻酔は麻酔科の専門の先生にかけて頂きます。人工呼吸器のための管は、ラリンジアルマスキという違和感の少ない方法を用い、気管内には入れないので、のどの痛みはありません。また、鼠径ヘルニア手術では、立川病院では尿道カテーテルは入れていないので、術後排尿時の痛みもありません。術後3時間ほどベッドで安静にしますが、その後は食事歩行もできます。

手術成績は、鼠径部を切開する方法、腹腔鏡ともに、再発率が1%未満と同じです。術後、鼠径部に水(滲出液)がたまり、ふくらむことがあります。2-3ヶ月で消えます。
腹腔鏡は左右両側にヘルニアがある場合、再発の場合、女性の様に鼠径部の様々な部位が緩む事



(図4) TAPP法



(図5) TEP法

がある場合などに対しては非常に優れた方法です。
鼠径ヘルニアに対する手術は鼠径部を切開する方法、腹腔鏡を用いる方法の2通りがあります。共利点、欠点があります。いずれにせよ、実際に手術する外科医が一番慣れた方法で行うのがベストであろうとされています。新潟県内では腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術は、まだ一般的ではありませんが、当院ではこれまで500例以上の手術を行ってきました。県内外の多くの先生が手術の見学に来られています。

手術をお考えの方は、一度ご相談ください。ね。